

# 中国の歴史を感じる ～西安修学旅行～



大雁塔の見学



秦始皇帝兵馬俑博物館の見学



兵馬俑レプリカ制作体験



明代城壁の見学



秦漢瓦博物館 瓦色付け体験

6月14日から16日まで2泊3日の旅程で、広州日本人学校小学部6年生46名が西安へ修学旅行に行ってきました。今年の修学旅行のテーマは「中国の歴史に触れ、小学部最高の思い出を作ろう」でした。

広州から約2000kmの距離にあり、シルクロードの出発点として知られる西安。1日目は、玄奘三蔵（三蔵法師）がインドから持ち帰った経典や仏像を保存するために作った大雁塔に登り、古都長安の面影を眺めました。西遊記の影絵を鑑賞したり、イスラム風情街を散策したりして、中国の多様性を肌で感じました。2日目は、世界遺産秦始皇兵馬俑博物館を見学しました。子どもたちは、一人一人の顔や服が違ふこと、手相や靴の裏底、髪の毛など細部まで観察していました。兵馬俑レプリカ制作体験もしました。明の時代に作られた現存する世界最大の古代城壁で、自転車体験をしました。3日目は、四国八十八箇所霊場0番札所でもある青龍寺を訪れ、遣唐使として留学した空海の足跡を学びました。秦漢瓦博物館では、瓦色付け体験を行いました。3日間を通じて、現地ガイドさんの話に熱心に耳を傾ける子どもたちの姿が印象的でした。

準備期間を含め、修学旅行を通して6年生は大きく成長しました。中国の歴史や文化について、五感をフル活用して体感することができました。一人ひとりが責任を持った行動をし、よりよい旅にしようとしていました。集団行動の大切さを学び、実践できました。励ましの声や確認の声を出し、仲間との絆を深めていました。最高の思い出作りができた6年生。修学旅行の経験を生かし、小学部最高学年としての自覚を持ち、広州日本人学校をより良くするために貢献する姿が各所で見られることを期待しています。